

## 近隣都市の水道水のおいしさについて

おいしい水研究会が昭和 60 年に示したおいしい水の水質要件と鳥取市、倉吉市、米子市の水道水を比較した結果、米子市の水道水は、蒸発残留物、硬度及び遊離炭酸が他都市と比べて少し高めですが、その他の項目は、ほぼ同じとなっています。水のおいしさは、人それぞれの味覚などによっても感じ方に差が生じる場合があります。なお、鳥取市と米子市は、「おいしい水 32 都市」に選ばれており、おいしさについて高い評価を得ております。

### ●おいしい水の水質要件による比較

厚生省（当時）の「おいしい水研究会」が昭和 60 年に示したおいしい水の水質要件と鳥取市、倉吉市、米子市の水道水の水質の状況は次表のとおりです。

水質項目	おいしい水の水質要件	平成 24 年度		
		鳥取市	倉吉市	米子市
蒸発残留物	30～200mg/L	74	56	120
硬度	10～100mg/L	28.1	17	49.6
遊離炭酸	3～30mg/L	3.5	8.1	7.7
過マンガン酸カリウム消費量	3mg/L 以下	0.3	0.4	0.2
臭気強度	3 以下	<1	<1	<1
残留塩素	0.4mg/L 以下	0.3	0.2	0.25
水温（最高）	20℃以下	9.2～28.4℃ 平均 18.0℃	7.0～27.0℃ 平均 16.6℃	10.7～26.3℃ 平均 17.6℃

※鳥取市、米子市の平成 24 年度 過マンガン酸カリウム消費量は、TOCの数値。

### 【用語の解説】

#### (1) 蒸発残留物

水が蒸発した後に残る物質で、成分は主にミネラル分。多く含まれると苦みや渋みなどを感じますが、適度に含まれると、こくのあるまろやかな味がします。

#### (2) 硬度

主なミネラル分である、カルシウム及びマグネシウムの含有量を表します。おいしい水の条件としては、硬度成分が適度に含まれることが必要です。硬度の低い水は「軟水」といい、味にくせがありません。一方、硬度の高い水は「硬水」といい、しつこい味を感じるほか、人によって好き嫌いが分かれることがあります。

#### (3) 遊離炭酸

水に溶けている炭酸ガスのことで、水にさわやかさを与える一方、多すぎると刺激が強くなってまろやかさが失われます。

### 【おいしい水 32 都市】

帯広市、苫小牧市、青森市、弘前市、秋田市、宇都宮市、小山市、前橋市、熊谷市、富山市、高岡市、金沢市、福井市、甲府市、松本市、岐阜市、大垣市、静岡市、沼津市、富士宮市、名古屋市、豊橋市、津市、松坂市、**鳥取市**、米子市、岡山市、広島市、山口市、高知市、熊本市、都城市